なかじま保育園

園目標『夢中になって遊ぶ子』

こころも　からだも　たくましいこ～２０２４ 夏～

裏庭の「すもも」の木が、実をつけました。「１００個取れたらジャムを作ろう」と、数を数えながら収穫を楽しんでいたのは年長児です。卵のパックを使いながら、間違いがないように数を調べていました。そしてジャム作りができる日がやってきました。袋に入れた実が、だんだんとつぶれジュースになっていく変化を嬉しそうにのぞき込んでいます。鍋に入れ砂糖と一緒に煮て、できあがったジャムは「すっぱあまい」と大人気でした。冷めたジャムがあめのように固くなることも発見しました。体験を通して自然の恵みを味わったり、食べのつながりに気がついたり、食べる楽しさを大切にしています。

友だちと協力しタイヤを積み上げ手に入れたものは・・・「セミのぬけがら」です。その後も次々に木々についているものをみつけていました。好きなことを通じて友だちと協力したり、どうしたら取れるのか考えたり、身近にあるものを使い工夫しています。

みんなで囲んで見ているのは「くまゼミ」です。
あきらめずに、やっとセミが取れたことを友だちに見てもらうことで、嬉しさが広がります。

同じイメージの世界の中で遊びを楽しんでいます。遊びに必要な物を作るのが、おもしろくなってきます。

『どこにいるんだろう』
大きな声の主を、お手製の「双眼鏡」で探しているのは年少児です。

図鑑を見ながらセミの模様を描いています。

自作の船を試運転中です。今までの経験から、水に強い素材を使っています。

白い紙の向こうには、「おばけの影絵」を持って動かしている友だちがいます。影を手で追って触ったり、光で変化する大きさを不思議に思いじっと見たりしている姿があります。

熱中症対策をしながら、水あそびを楽しみました。水だけでなく、氷、片栗粉、かんてん、ゼリー、はるさめなど様々な感触を味わいました。

夏の暑い時期も室内でしっかり手足を使って遊べるように環境を整えています。

年長組・年中組になると、プール活動が始まります。今まで水にたくさん親しんで遊んでいたので、プールが楽しくてしかたがありません。

♪わらべうた『ももやももや』
保育者の歌声に合わせて人形を揺らしています。